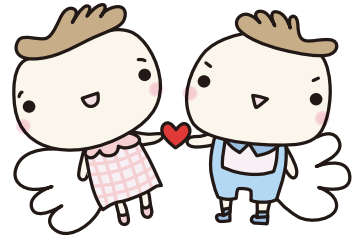


てとて

tetote



P2～ みんなでつくる「福祉のまち」まいばら
～第二次まいばら福祉のまちづくり計画の策定に向けて～



P4～ 社協からのお知らせ

P10 まいボラ「音訳ボランティア」紹介

P11 いつもの生活にちょこっとプラス『Let's ながら体操』

写真：大野木たまり場

みんなで作る「福祉のまち」まいばら

特集

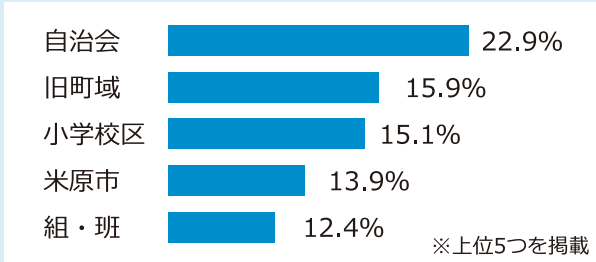
第二次まいばら福祉のまちづくり計画の策定に向けて

誰もが安心して暮らしていける福祉のまちづくりの具体的方向性を示す『第二次まいばら福祉のまちづくり計画（平成三十一年度～三十五年）』の策定作業が始まっています。

計画作りの一環として、地域の課題や今後のまちづくりに対する考え方を広く把握するため、昨年十一月にアンケート調査が行われました。

回答の中から、これからの福祉のまちづくりの方向性や活動のヒントが見えてきました。

あなたにとって「身近な地域」とはどの程度の範囲ですか



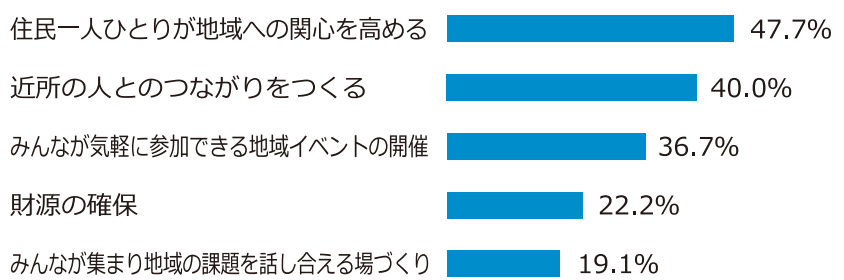
グラフを見ますと、「自治会」と答えた方が多くおられます。

米原市における、地域の支え合い活動は、この身近な地域の自治会を単位として、サロン活動や地域お茶の間創造事業等での居場所づくり、生活支援活動が展開されてきました。

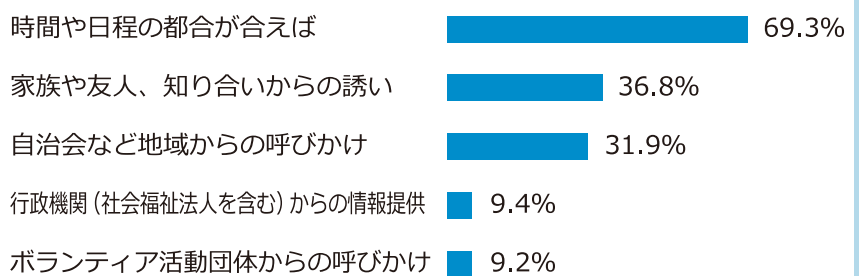
しかし、自治会単位では支えきれない課題や自治会での活動が困難になってきている地域も出てきました。そのような中、地域に暮らす困りごとを抱えた人への住民だからこそできる支援を、自治会を超えたつながりの中で解決していくことが求められてきています。

つながりづくりの範囲として、今回の結果から身近な地域として回答が高くなっている「旧町域」や「小学校区」を範囲として進めていくことが考えられます。

住民自治活動を活発にするためには、何が必要ですか



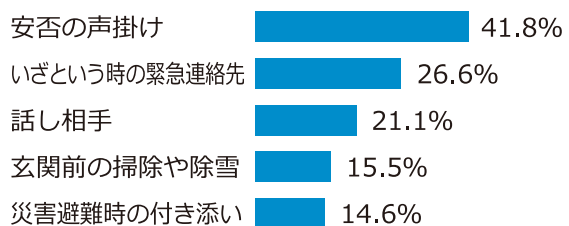
どのような参加機会があれば地域活動に参加したいですか



地域では、少子高齢化や人口減少が進み、地域における担い手が段々減少してきていると言われています。

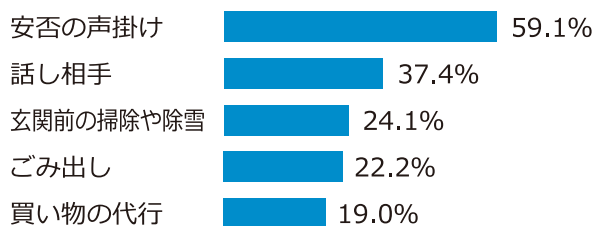
二つのグラフを合わせて考えると、地域活動を活発にするためには、地域への関心を高める場づくりや近所の交流を深める場所があることが大切で、そのつながりづくりの中から、地域活動への誘いかけや呼びかけにより、新たな地域の力として参加していただける住民が、まだまだたくさん地域におられることを示しているのではないのでしょうか。若い方だけ、高齢者だけが活動を担っていくのではなく、幅広い世代に呼びかけ、得意な部分を分担しながら地域活動に取り組んでいくことが必要かもしれません。

困った時にご近所に頼りたいこと

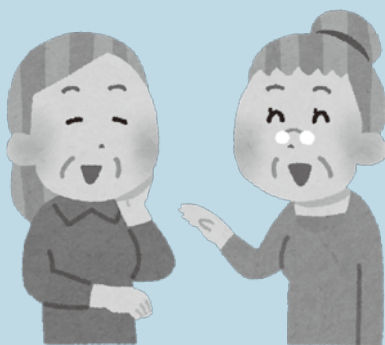


※頼りたい具体的な項目 上位5つを掲載

ご近所に困っている人がいる時にできること



※上位5つを掲載



二つのグラフを見ると、ご近所に『頼りたいこと』と『できること』の上位の回答がほぼ一致しています。

この「声かけ」や「話し相手」は、身近に暮らす住民だからこそできる活動であり、このことが、地域に暮らす安心感と充実感につながります。

これらの活動の展開も、近所の人とのつながりづくりや身近な人からの活動参加の誘いかけがあれば大きく広がっていく可能性があると思われます。



【ふくし座談会 ～みんなで考えよう地域福祉計画～】

対象地域	日時	場所
伊吹地域	第1回 5月12日(土)	愛らんど
	第2回 6月6日(水)	
山東地域	第1回 5月19日(土)	ルッチプラザ
	第2回 6月13日(水)	
近江地域	第1回 5月26日(土)	やすらぎハウス
	第2回 6月20日(水)	
米原地域	第1回 6月2日(土)	ゆめホール
	第2回 6月27日(水)	

【お問い合わせ】米原市くらし支援課 ☎55-8110
もしくは社協各センターまで

まいばら福祉のまちづくり計画は、市民をはじめ、福祉関係者、行政、社協などが一緒になって策定しています。

策定委員会における熱心な議論や今回のアンケート調査のほか、次の通り『ふくし座談会』みんなで考えよう地域福祉計画』を開催します。地域の宝物（地域の支え合いの力）を再発見したり、取り組みの具体策を話し合います。

みなんでつくる『福祉のまち』まいばらに向けて、皆さんの参加をお待ちしております。

【調査の概要】

調査方法：20歳以上の市民1,995人の方を無作為に抽出。郵送配布・郵送回収による郵便調査方法
回収結果：配布数1,995件 有効回収数 1,168件 有効回収率 58.5%

京市社会福祉協議会事業計画

活動の強化に取り組みます。
あるニーズに対する事業やサービスの実施を行います。
めめます。

、市内のすべての人が
心して自分らしく暮ら
会の実現を目指します。



暮らしを支える活動

権利擁護センター

- ・相談、啓発活動
- ・申立支援
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・法人後見 等

生活支援

- 自主事業
【制度内サービス】（数字は事業所数）
 - ・介護保険事業
デイ通常規模3、地域密着5、小規模多機能1
ヘルパー2、ケアマネ1
 - ・介護予防 通所型3
 - ・障がい者福祉サービス
ヘルパー2、ほおずき作業所
障がい者相談支援センターほたる
- 【制度外サービス】
 - ・ふれあいよりそい事業
 - ・緊急時預かりサービス
 - ・地域生活応援事業
 - ・一時援護資金貸付事業
 - ・フードバンク 等
- 委託事業
 - ・生活困窮者自立支援事業
 - ・外出支援
 - ・放課後児童クラブ
 - ・ファミリー・サポート・センター 等

ちづくり活動

アセンターの運営
連携 等

の支援

連絡協議会（仮称）
議会
開催 等

推進体制の充実・強化

- ・評議員会、理事会の開催
- ・情報公開、広報誌、HP
- ・会員会費制度の普及
- ・財政の健全化、善意銀行
- ・人材育成、研修制度 等

平成30年度社会福祉法人米原

【基本方針】 『つながりで地域の暮らしを支えきる』

- 【推進方針】
- 1) つながりを広げ深めるネットワーク
 - 2) 充足されないニーズ、制度の狭間に
 - 3) 人材育成と魅力ある職場づくりを進

地域の福祉力を高める活動

小地域福祉活動の推進

- ・ 地域福祉懇談会
- ・ サロン活動支援
- ・ 見守りネットワーク会議
- ・ 地域リーダー養成
- ・ 活動助成金
- ・ 小地域における災害対策支援
- ・ 自治会を超えたつながりによる活動推進組織づくり 等

地域支え合いセンター

- ・ 活動者のつながりづくり（まるごと交流会）、人材育成、活動支援
- ・ 生活支援サービスの開発 等

ボランティアセンター

- ・ ボランティア育成
- ・ ボランティア活動を通じた地域支援
- ・ 生活支援 等

福祉学習・福祉人材育成

- ・ 社会福祉大会
- ・ 福祉学習
- ・ 認知症サポーター養成
- ・ 介護職員初任者研修の共催 等

地域をつなぐ活動

相談機関の連携強化

- ・ 相談機関連絡会議
- ・ 研修会
- ・ 地域カルテの作成 等

米原市社会福祉協議会は地域社会の一員として安し続けられる地域共生社



災害に強いま

- ・ 災害ボランティア
- ・ 災害時の機関

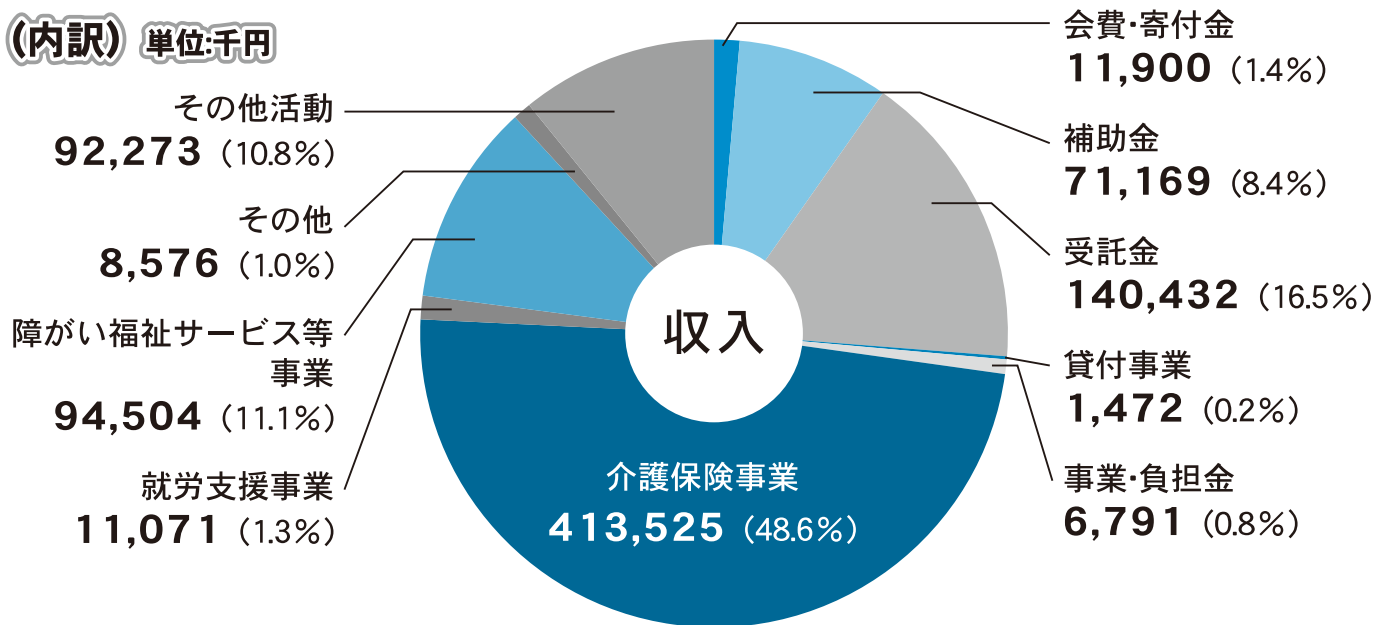
関係機関・団体

- ・ 社会福祉法人
- ・ 事業者連絡協
- ・ 研修会の合同

平成30年度 一般会計予算

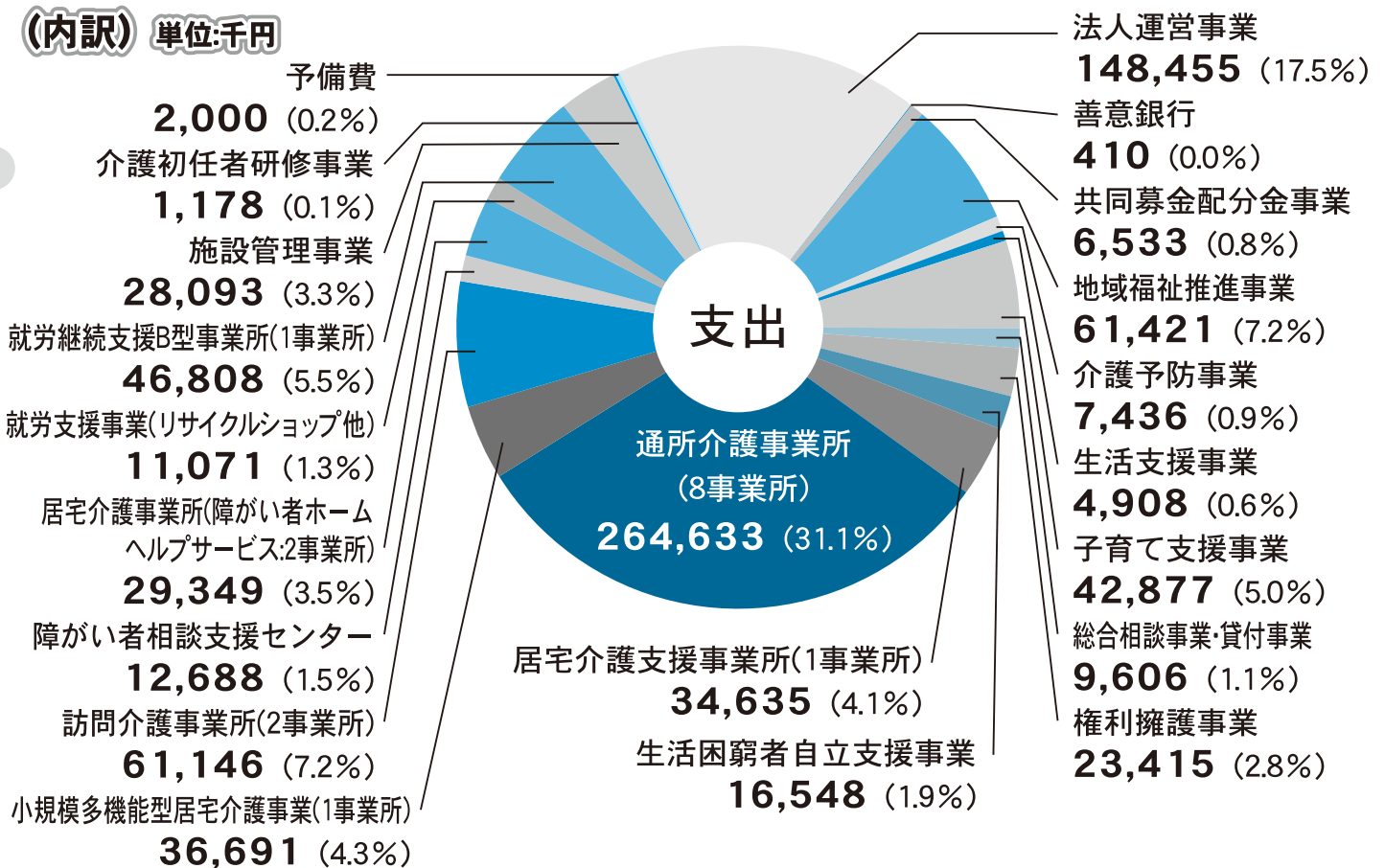
収入合計 851,713千円

(内訳) 単位:千円



支出合計 849,901千円

(内訳) 単位:千円



《米原市社会福祉協議会の組織》

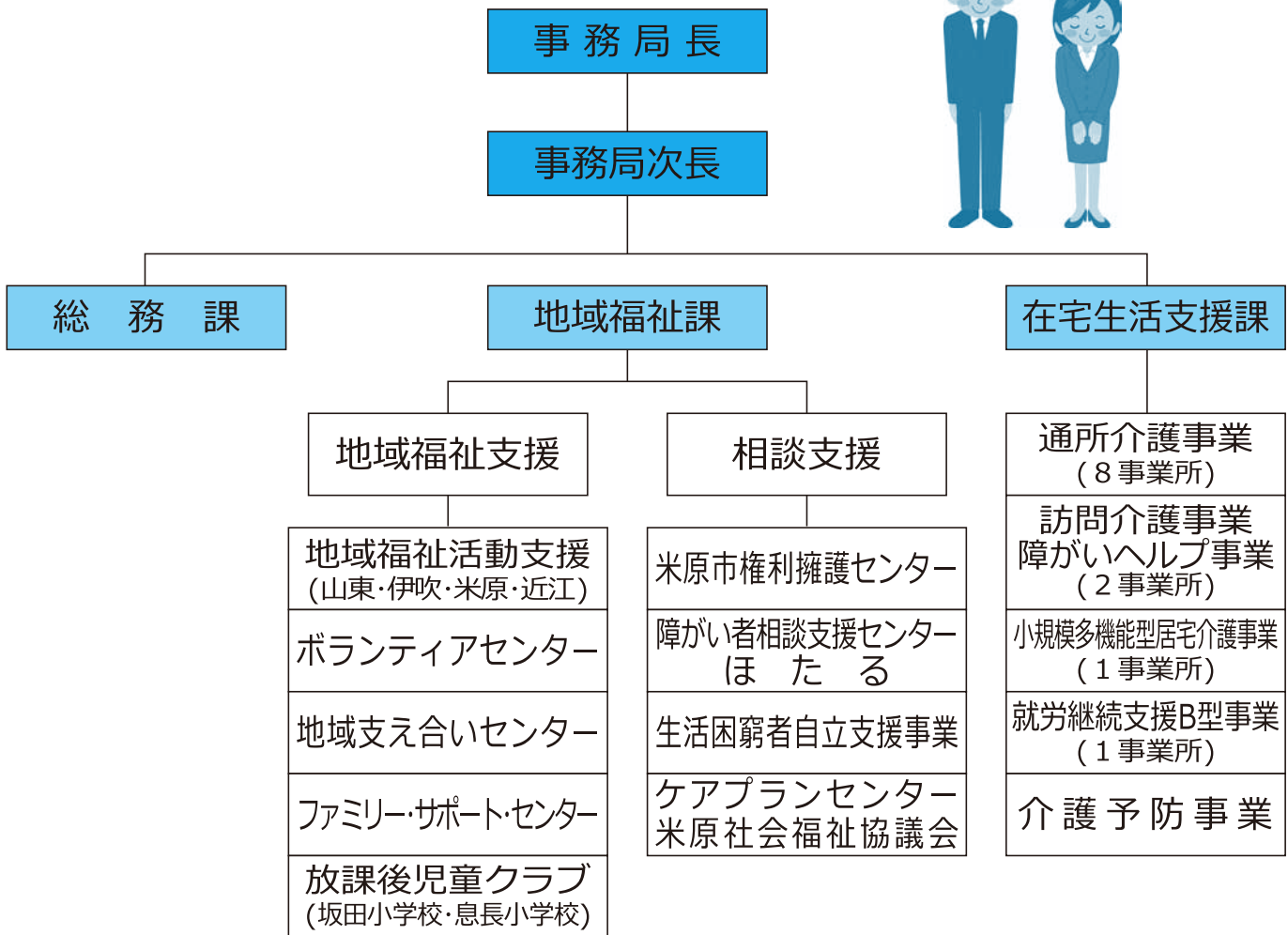
【会 員】
 一般会員：各世帯
 特別会員：個人・団体・企業・商店・施設等



【評議員】 30名		【理事】 8名 【監事】 2名 (会長：1名 副会長：1名含む)			
事務局	事務局長 事務局次長	総務課	地域福祉課	在宅生活 支援課	合計
正規職員	2	4	23	31	60
准正規職員	0	4	7	24	35
パート職員	0	4	29	85	118
合計	2	12	59	140	213

(平成30年4月1日現在)

《事務局体制図》



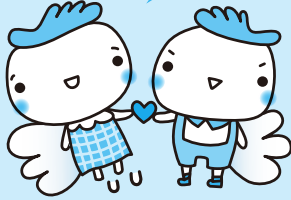
- 山東地域福祉活動センター
- 伊吹地域福祉活動センター
- 米原地域福祉活動センター
- 近江地域福祉活動センター
- 長岡：市民交流プラザ（ルッチプラザ）内
- 春照：伊吹健康プラザ愛らんど内
- 三吉：米原地域福祉センターゆめホール内
- 顔戸：近江地域福祉センターやすらぎハウス内

平成30年度

社協会費にご協力をお願いします。

普通会費（年額1,000円/世帯）
のご協力をお願いいたします。

社会福祉協議会は地域の皆様を会員とする、
まいばらの地域福祉の推進に取り組む団体です。



米原市社会福祉協議会は、「つながりで地域の暮らしを支えきる」を基本方針とし、市民一人ひとりに寄り添い、地域全体で世代や分野を超えて「お互いに支え合う地域共生社会」の実現を目指し事業を展開しています。

皆様から寄せられる会費は、市内の皆様とともに進める地域福祉活動を支える大切な財源となります。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、一人でも多くの皆様方のご理解と温かいご協力をよろしくお願いいたします。

皆様からいただく会費の使いみちと会費1,000円の内訳

地域をつなぐ活動【217円】

- 広報誌、ホームページ等による情報発信
- ニーズ・社会資源の把握（地域カルテ）
- 福祉事業者との協働・活動支援
- 相談支援窓口の設置など



広報「つとて」の発行



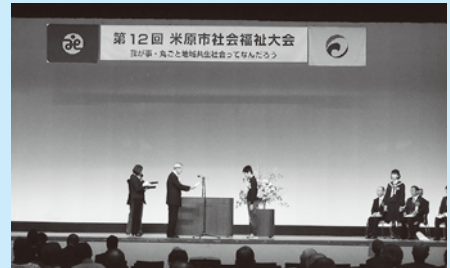
フェイスブック・ブログなどの活用

地域の福祉力を高める活動【393円】

- 小地域福祉活動の支援
- ボランティア活動の推進
- 福祉学習会・出前講座
- 社会福祉大会
- 障がい児者支援サポーター育成講座など



小地域福祉活動の支援



社会福祉大会

暮らしを支える活動【236円】

- 学習支援事業・子ども食堂の支援
- 子育てサークルの育成・遊びの広場
- 備品・福祉機器の貸し出し
- 生活困窮者物資提供事業
- 自己決定の支援（暮らし方ノートや成年後見制度の普及）など



子ども食堂



暮らし方ノート

災害時に強いまちづくり活動【154円】

- 災害時支援体制づくり
- 災害ボランティアセンター設置・運営
- 福祉避難所運営マニュアルの整備
- 災害時要支援者登録の推進など



災害ボランティアセンター訓練

相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）。

〈問合せ〉米原市 暮らし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
5月22日(火)	やすらぎハウス(顔戸21-2)	7月24日(火)	近江公民館(顔戸1513)
6月12日(火)	げんきステーション(下多良3丁目3)	8月7日(火)	ゆめホール(三吉570)
6月26日(火)	愛らんど(春照56)	8月28日(火)	愛らんど(春照56)
7月10日(火)	ルッチプラザ(長岡1050-1)		

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
5月24日(木)	愛らんど(春照56)	7月26日(木)	ルッチプラザ(長岡1050-1)
6月21日(木)	やすらぎハウス(顔戸21-2)	8月23日(木)	ゆめホール(三吉570)

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 暮らし支援課(山東庁舎) TEL：55-8110

善意銀行だより

平成30年1月16日～平成30年3月31日
(敬称略)

〔金銭預託〕

匿名	10,000円
天満女性の会	5,276円
小田婦人会	4,848円
匿名	10,000円

〔物品預託〕

林 年子	昆布茶
天満女性の会	タオル・使用済切手
米原赤十字奉仕団	液体洗濯用洗剤(詰替え)
小田婦人会	雑巾・タオル・使用済切手
匿名	歩行器
匿名	米
おおはら農園	どろんこばたけ
	赤かぶら・白かぶら・水菜
真野 修	おはぎ



※他季節のお野菜や果物をたくさんいただき、ありがとうございました。

・市内福祉事業所にもお渡ししております。

平成30年度介護職員初任者研修受講生募集

(介護の仕事に就くための入門資格で、
従来のヘルパー2級講座です。)

募集期間：5月1日(火)～6月22日(金)

対象者：研修の全課程を受講できる方

(母性保護のため、妊娠している方はご遠慮ください。)

受講期間：7月6日(金)～11月30日(金)

受講場所：社会福祉法人米原市社会福祉協議会

(米原市三吉570番地 米原地域福祉活動センターゆめホール)

受講料：45,400円(米原市内在住または、在勤されている方)

55,400円(それ以外の方)

※テキスト代・消費税含む

定員：30名(先着順)

申込・お問合せ：

専用申込書がありますので、まずはお問合せください。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会

電話54-3105

ホームページ<http://www.maibara-shakyo.or.jp>



平成28年熊本地震災害義援金に
ご協力いただきました。



長岡保育園 様
(いのちの貯金箱より)



こんにちは、米原市ボランティアセンターです！
今年度からはじまりましたボランティアのページでは、
市内で活動されるボランティアさんの声やボラン
ティアに関する情報を皆さんにお届けしていきます!!

米原市のボランティア情報 まいボラ



ただいま活動中！

第1回目となる今回は、市内で活動されている音訳ボランティアさんの声をお届けします!!
音訳とは、書かれた文字を音声化することをいいます。音訳ボランティアさんは、広報まいばら・議会だ
より・社協広報「てとて」を、毎号、読み上げ・録音・編集作業を行い『音の広報』として、市内の障が
い者手帳をお持ちの方にお届けしておられます。

カナリア音訳グループ

カナリアの5人はこう思っています。



「誰かの役に立ちたい。」

「温かい心をもって、非力ながら心の杖の一
助になりたい。」

「広報が届く頃になると、何度もポストを見
に行くという利用者さんがおられました。待っ
ておられる方に聞きやすい声でわかりやすい
読み方で、早く届けたいです。」

「仲間と楽しく音訳しています。聴いて
くださって有難うございます。」

対面朗読ボランティアやまびこ

少しでも質の高い録音をお届けすること。

いつもマイクの前に、利用して下さる人を思い
うかべ、聞きやすく正確な情報を心をこめてお
伝えすること。

そのためにも仲間と学びあいながら、スキルアッ
プし続けたいです。



聞く♪ 広報を利用してみませんか？

今回、音訳ボランティアグループさんの協力をいただき、CDプレーヤーやインターネットで
「音の広報」を聞いていただけるようになりました。ぜひご利用ください!!

このようなことでお困りではないですか？

細かい字が読みにくくなってきた・・・読むより聞くほうが分かりやすい・・・など、広報誌の
文字が読みにくくてお困りの方に、ご自宅のCDプレーヤーなどで気軽に聞くことができる「音
の広報」のCDをお届けいたします。詳しくは下記までお問合せください。



〈問合せ先〉社会福祉法人 米原市社会福祉協議会
米原市ボランティアセンター
電話：55-3933



その他にも、身近な場所でこんな便利な利用方法もあります!!

○図書館で借りる 市内の図書館（近江・山東・伊吹）でCDを借りることができます。

○インターネット 広報まいばら・議会だよりは米原市ホームページ、社協広報「てとて」は
米原市社協ホームページから音声データにアクセスできます。

いつもの生活に『ちょこっと』プラス！

Let's！ながら体操

毎日を気持ちよく生活するために、〇〇しながら『ちょこっと』体操を取り入れてみませんか？市内の専門家から簡単にできる体操を教わります！

今回は、肩こり体操です。

普段動かしていない方向に体を動かし、筋肉の中にある血流を良くして、柔らかい体作りを目指していきましょう！！



まず、血行を良くします。
写真のように片手を首、もう一方の手を後ろにまわします。
首を傾け、20秒キープします。
これを両方行います。

今回体操を教えてください方は
ケアセンターいぶき
理学療法士
瀧澤 陽一さんです



③手の平を外に向けます

次に肩甲骨のまわりの筋肉をほぐします。

写真の①～④の順番に10回くらいゆっくりと肩を回します。肩甲骨を意識しながら行います。



この部分が肩甲骨です。

「肩こりってなんで起きるの？」

一般の肩こりは姿勢によるもの、運動不足によるものが大多数です。

肩の筋肉が硬くなると、首の回りも硬くなります。

人間の皮膚は全部つながっているので、段々と他の筋肉も硬くなり、全身に影響してくることもあります。

滋賀県レイカディア大学・第41期 学生募集！！

レイカディア大学では、高齢者の方が新しい知識や教養、技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援する場所として、大学を開設しています。

【対象者】 60歳以上の人で、地域の担い手としての活動を目指す方。

【学習内容】 「人間理解」「郷土理解」「社会参加」を学ぶ必修講座と、学科別に分かれて学ぶ「園芸」「北近江文化」「健康づくり」の選択講座があります。

【学習期間】 平成30年10月から平成32年9月までの2年間

【授業料】 年額50,000円。ただし、教材費、見学費等の費用は自己負担となります。

【受付期間】 平成30年6月1日（金）から7月31日（火）まで

募集要項と入学願書は、市役所・社会福祉協議会の窓口、またはお近くの公民館等にあります。また、「びわこシニアネット」(<http://www.e-biwako.jp/>)からもダウンロードできます。

《お問い合わせ先》社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

・滋賀県レイカディア大学米原校

〒521-0016 米原市下多良2-137 (県立文化産業交流会館内) TEL0749-52-5110

・滋賀県レイカディア大学草津校

〒525-0072 草津市笠山7-8-138 (県立長寿社会福祉センター内) TEL077-567-3901



子育てサークル紹介

今年度は、米原市で活動されている子育てサークルを紹介していきます♪

— 今月は「わんぱく」さんです —

わんぱくは米原市在住の未就園児の親子を対象に、毎月第1・3火曜日にきらめきステーションで活動しています。おもちゃで遊んだり、育児の悩みなどを共有し、保護者同士の交流を深めています。天気の良い日は外へ出かけたり、消防署見学やクリスマス会などのイベントも計画しています。今年度もたくさん楽しいことをしていきたいです♪



問合せ先：米原市ボランティアセンター
電話：55-3933

大きくな～れ

今月のおすすめ情報

ほたるの里、米原。もうすぐほたるまつり(6/1～6/10)ですね♪そこで今回は、米原市天の川ほたるまつり実行委員の方に、ほたるを見る際のポイントを伺いました!!



その1：ほたるがよく飛ぶ時間は

午後8時～9時・11時くらいで、

ほたるが乱舞すると言われています。

その2：ほたるは、湿度と気温が高い、「蒸し

むし」とした気候条件で多く発生します。

★重要★

ほたるは、米原市虫保護条例によって保護されています。マナーを守りほたるを捕ったりしないでください!!

この時期ならではの風景。
親子で楽しんでください★

我が家のアイドル



左：大澤泉緒(みお)ちゃん 1歳10ヵ月
右：里緒(りお)ちゃん 1歳10ヵ月
2人だけの会話は親にはわからない世界が??
笑いあっている姿を見るのが楽しみです。

今日のイベント情報

子育てサークル作り 「こもち～ズ広場」

『外あそびのススメ

～外遊びは子どもにとって心身の栄養～』

6月 5日(火) はじめましての会

6月12日(火) 巨大シャボン玉を作ってみよう!!

6月19日(火) でこぼこ散歩道

6月26日(火) 簡単に作れるピクニックランチ♪

7月 3日(火) 三島池までレッツゴー!!

7月10日(火) 芝生の広場でピクニック♪

※詳細等は、自治会回覧のチラシ・社協HPをご覧ください。お申込みお待ちしております!!

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1050番地1 米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)内
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2
近江地域福祉センター
やすらぎハウス内
TEL 52-1463 FAX 52-8051
TEL 52-4393
m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

文字が読みにくい等で困りの方に
毎号、「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。(「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。)

